

自然が先生 自然の学校 里山の生活を体験してみよう



助成区分 植栽 環境保全 調査・研究 **教育・啓蒙**

実施状況

参加者数

のべ
90人

例会実施回数

6回

活動の全体目標に
対する達成度

70%

活動目的

子ども達が体験や遊びを通じて里山に触れ、その自然や生活を次世代へつなぐ種とな育っていくことを目的とする。

活動内容

- ・あきる野市菅生地区の遊休農地や手入れが行き届かない雑木林で、小学生を中心とした子ども達とその保護者などを対象に1年のつながりを感じる独自の里山体験プログラムを年6回実施。
- ・各例会の下見、リーダーの技術と知識を高める研修活動の実施。
- ・マウンテンバイク愛好家のグループの協力も得て、整備活動を実施。
- ・例会毎に新聞形式の報告にまとめ活動内容を発信。



成果

- ・主に小学生やその保護者など、のべ90人が参加
- 12月 餅つき、しめ飾りづくり(地元の方の指導) 2月 雑木林の落ち葉だめづくり・たき火
- 4月 里山散策と野草の天ぷら 6月 ホタルキャンプ・ジャガイモ収穫(遊休農地の活用)
- 8月 川遊び 10月 サツマイモ収穫



- ・自然の学校のプログラムは菅生地区で20年の活動実績
- 地域の方との連携や持っている技術を教えて頂くつながりができている
- 子ども達を先導するリーダーには小学生の頃から参加している者もあり、リーダー育成という面でも大きな成果がある。

工夫した点

- ・季節を通じた種まきから収穫までなどつながりのあるプログラムづくり。
- 畑で収穫した野菜をその場ですぐに子ども達もたちが食べられるように畑の野菜は無農薬の生産を心がけた。
- ・車椅子を使用しているの参加者もいるため、バリアの多い里山で創意工夫しながら少しでも体験が充実するように活動を行っている。

今後の課題

継続した活動のために

- ・活動資金の確保
- ・人材育成
- ・参加者募集の広報